

## 会 議 結 果

会議名	平成30年度 第1回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	平成30年7月4日(水) 午後2時15分～3時40分
場所	西尾市役所 5階 51会議室
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員16名 事務局3名 (欠席:小林裕之委員、鈴木英治委員、竹内久祥委員)
傍聴者	4名
議 事	<p><u>1 開会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料確認</li> <li>・あいさつ</li> <li>・委員自己紹介</li> </ul> <p><u>2 議題</u></p> <p><u>(1) 市内公共交通の平成29年度実績について(報告事項)</u></p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1により説明。</li> </ul> <p>○中村委員(西尾市障害者福祉団体連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りにとってはいこまいかーの予約手続きが煩雑であり、近くの駅やバス停まで少し行くためにわざわざ迎えに来てもらうのは申し訳ないという気持ちもある。</li> </ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使うのが億劫だという方や、予約の仕方がよくわからないという方もいるため、老人会や民生委員の集まりに出かけていき、こういう使い方ができますよという説明を少人数規模で行っている。そういう場があればぜひ呼んでもらいたい。</li> </ul> <p>○清水委員(西尾市代々表町内会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六万石くるりんバスの東廻り線を利用しており、便利でありがたいと思っているが、実績を見ると利用が少ないところもあるため、車両を小型化してはどうか。小さければ細い道に入っていくこともできるが、見直しのタイミング等が決まっているのか。</li> </ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議題にもあるが、今後六万石くるりんバスを中心としたバス交通網の再編を予定している。その中でニーズ調査を行いながら、車両のサイズに関しても見直していきたい。</li> </ul> <p>○松尾副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いこまいかーについて申し訳ないという声があったが、公共交通なので申し訳ないと思わずに使っていただけるよううまく説明していく必要がある。乗ってみてくださいと言うだけでなく、一緒に乗ってみませんかということも必要で、それを担当者だけでやるのは難しいので、各地域で使ったことのある方が一緒に乗ってあげる仕組みがあればいいのではないかと。一度一緒に使ってみれば、利用の仕方がわかり使いやすくなると思う。</li> <li>・六万石くるりんバス車両の小型化について、利用状況に対して適正な車両を使うことは重要だが、その検討の際には小型化により積み残しが発生する可能性も考えなくてはならない。平均利用者数とは別に、一定の人数を超えるような便がどれだけあるかも整理してもらいたい。</li> </ul> <p><u>(2) 平成29年度収支決算について(協議事項)</u></p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2により説明。</li> </ul>

- 颯田委員（西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団）
  - ・監査の結果、適正に執行されていたことの報告。

◎議題（２）について全会一致で承認。

### （３）平成３０年度収支予算（案）及び事業計画（案）について（協議事項）

○事務局

- ・資料３及び資料４により説明。

○田中委員（西尾市観光協会）

- ・事業②－１で駅を拠点にしたマップ等とあるが、観光協会においても既に駅でのレンタサイクルを実施しているが、管理維持していただけるところがあまり無い。上横須賀駅等では管理をお願いしているところが土日休みで、観光客への十分な対応ができない状況であるため、しっかりと管理維持ができるところへのお願いを観光協会と行政でしていきたい。
- ・観光マップについても、今年度改訂を予定しているため、無駄なく効果的なものができるよう連携してやっていきたい。

○事務局

- ・にしがま線の利用促進に取り組む「名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会」の役員には観光協会の方もいるため、情報提供しながら連携して取り組んでいきたい。レンタサイクルについては、西尾市では幡豆地区、蒲郡市では形原・西浦地区を予定しており、土日の観光客も使いやすいような形で現在協議を進めている。

○石原会長

- ・事業①－１で「タクシーサービスの利便性向上・活性化」とあるが、以前新聞記事で「タクシー定期券」実証実験の記事を拝見した。西尾市のタクシーではそういった動きはあるのか。

○加藤委員（名鉄東部交通㈱）

- ・愛知県ではまだそういった動きはないが、ある程度の利用率がないと定期券制度は難しいのではないかと。先行地区の様子を見ながら考えていきたい。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・タクシー定期券については全タク連の今年度の取組に挙げられている。鉄道等の定期券では駅から駅で区間が決まっているが、タクシーではどのような制度にするか中々難しく、実証実験を行いながら問題点を探っていくことになる。

○児玉委員（愛知県振興部交通対策課 代理）

- ・公共交通の利用促進として観光との連携をすすめるとのことだが、県としても「destinationキャンペーン」として、常滑市・半田市・碧南市・西尾市の「竜の子街道プロジェクト」を推進している。特に西尾市の観光協会は県内で３箇所しかないDMOの一つで、外国人が好みそうなコンテンツもあるため、観光協会と連携して公共交通につなげてほしい。

○松尾副会長

- ・交通だけ整備しても目的地が無いと意味が無いと、観光との連携は非常に重要。その点では、六万石くるりんバスの１００万人達成記念事業も、ただ無料にするだけでなく、観光と連携して乗る目的をつくってもらいたい。

◎議題（３）について全会一致で承認。

### （４）バス交通再編のための調査事業について（協議事項）

○事務局

- ・資料５により説明。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・現在の案として、どれくらいの規模の市民アンケートを行う予定か。また、地域別の意見交換会が再編方針決定前に予定されているが、大まかな方針が決まった後に行うのも一つである。そのあたりのスケジュールも含めて少し補足をいただきたい。

○事務局

- ・あくまで現状の案だが、市全域の調査では3,000票以上というのが一般的である。意見交換会については、ある程度方針が決まった後にそれを示しながら生の声を聴くのも有効な手であると思う。調査の内容については、次回協議会で案をお示しし決定していきたい。

○児玉委員（愛知県振興部交通対策課 代理）

- ・再編案を決定する前段階で交通事業者へヒアリングし、事業者が抱えている課題についても把握の上、検討を進めてもらいたい。

○松尾副会長

- ・現在の計画策定にあたり平成25年にアンケートを行っているので、5年経った現在との比較ができるような内容だといいいのではないか。
- ・幹線系統を中心に高校生の利用が多い路線もあり、将来の利用者にバスについて知ってもらうという点でも重要であるため、高校生を対象とした調査もあるといいいのでは。
- ・再編により路線重複部分が効率化されると乗換の必要性が出てくる可能性がある。利用者アンケートでは乗ったバス停、降りたバス停を調べることが多いが、それだけだと現在の路線の制約の中での移動状況しか把握できない。出発地から目的地までの移動のデータを取っておくと、乗換も含めた再編前後の比較ができる。

◎議題（4）について全会一致で承認。

3 その他

○事務局

- ・名鉄バスグループの再編により、7月1日からふれんどバスの運行事業者が「名鉄バス東部株式会社」から「名鉄バス株式会社」に変更となったため報告させていただく。運行条件等の変更は無くこれまで通りである。

4 閉会

以上